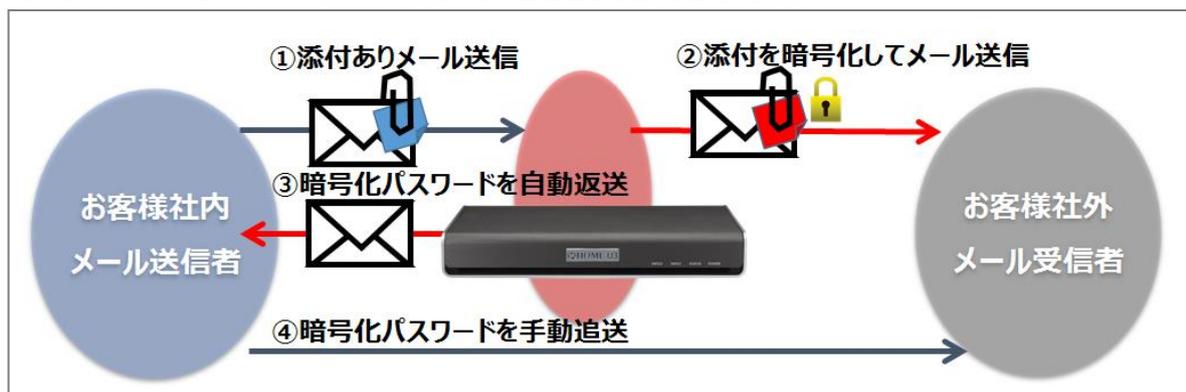


■ HOME-UNIT3 添付ファイル自動 ZIP 暗号化サービスについて

HOME-UNIT3 のオプション機能である送信メールの「添付ファイル自動 ZIP 暗号化」機能について、詳細仕様を解説します。

◎ 添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能の仕組みについて

添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能は、送信メールの添付ファイルの有無を自動判定し、添付ファイルがあった場合に自動で当該ファイルを暗号化する機能です。暗号化パスワードは送信者に返送し、送信者自身が手動送信する設定が標準です。パスワードを HOME-UNIT3 から自動送信させる設定も可能です。



◎ 添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能ご利用上の注意点

HOME-UNIT3 のオプション機能、メールの添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能について、利用するメールアプリケーションによっては利用制限が発生する場合があります。詳細は以下をご確認ください。

- ① **プロバイダとのメール通信に暗号化通信（SSL/TLS）、STARTTLS 通信に対応したメールサーバ、その他、Microsoft Exchange などの暗号化通信**を利用している場合、本機能は利用できません。
 ※25/587 ポートを使用した SMTP での平文の通信のみ、添付ファイル暗号化の対象となります。
 ※メール通信に暗号化通信(SSL/TLS や STARTTLS)を利用の場合の動作については後述の「◎メールが既に暗号化されている場合」をご確認ください。
- ② SMTP サーバとの認証において **CRAM-MD5 / DIGEST-MD5** を利用の場合は、クライアント端末側の設定変更をご案内する場合があります。また、特殊な認証方式をご利用中の場合は、本機能は動作しません。
- ③ **メール形式**はテキスト形式を利用してください。HTML 形式・リッチテキスト形式の場合は、メール本文を暗号化してしまう等、誤作動の原因となる可能性があります。
 HTML 形式のメールを送信する場合に、本文に埋め込まれた画像を暗号化しない設定も選択できます。設定変更を希望する場合には、HOME-CC にご相談ください。
- ④ **予めパスワード付で ZIP 圧縮されたファイル**及び**パスワード付 Office ファイル**は本機能による暗号化の対象外です。
- ⑤ HOME-UNIT3 が暗号化できるファイルサイズには上限があります。
 暗号化が出来ない 10MB 以上の添付ファイルを含むメールに対して「送信しない」/「暗号化せずに送信」の動作を設定できます。

- ⑥ HOME-UNIT3 が暗号化できるファイルのファイル名には制限があります。
半角 256 文字以上、全角 86 文字以上のファイル名のファイルは本機能による暗号化の対象外です。
※送信した添付ファイルが破損したり暗号化されずに送信されたりする可能性があります。
- ⑦ パスワードの自動送信設定について、弊社標準設定では、「送信者のみに通知」に設定されていますが、下記を含め 3 種類の中から選択できます。設定の変更を希望する場合は、HOME-CC にご連絡ください。
- あて先と送信者に通知
 - あて先のみ通知
- ⑧ メールプロバイダ側の制限により、パスワードメールが遅れて送信されるケースがあります。
- ⑨ メールの件名先頭に「暗号化除外文字」があった場合、本機能による ZIP 暗号化対象から除外されます。弊社標準の「暗号化除外文字」は「; (半角セミコロン)」されており、下記を含め 5 種類の中から選択できます。設定変更をご希望する場合は、HOME-CC にご連絡ください。
- 「: (半角コロン)」
 - 「, (半角カンマ)」
 - 任意文字列 (1~7 文字の任意文字列)
 - 設定しない (件名先頭に暗号化除外文字が含まれる場合でも全ての添付ファイルが ZIP 暗号化されます)
- ※メールの件名先頭に「暗号化除外文字」があった場合、「暗号化除外文字」をあて先に見せない設定にすることも可能です。
- ⑩ ホワイトリストを設定し、添付ファイルを自動で ZIP 暗号化しない設定にできます。
- あて先メールアドレス 及び ドメイン
 - 送信者メールアドレス 及び ドメイン
 - 送信元 IP アドレス
- ※あて先(To、Cc、Bcc)が複数設定されていて、ホワイトリストに登録されているメールアドレスとされていないメールアドレスが混在するメールに対して、ホワイトリストに登録された宛先だけ「ZIP 暗号化しない設定」と「ZIP 暗号化する設定」を選択できます。弊社標準設定では、ホワイトリストに登録されたあて先に対しても添付ファイルを「ZIP 暗号化する設定」となっております。設定変更を希望する場合は、HOME-CC にご連絡ください。
- ※送信元 IP アドレス指定でホワイトリストの設定をされた場合、添付ファイル自動 ZIP 暗号化及びメール誤送信防止機能も適用されずにメールが送信されます。
- ⑪ 「Gmail」や「Yahoo Mail」などの Web メール環境、Microsoft Exchange 環境では、メール送信時に UNIT を経由しないため利用できません。
- ⑫ IPv6 を利用したメール送信に対しては、本機能は動作しません。
IPv4 over IPv6 通信の環境では、HOME-UNIT4 配下の通信は IPv4 で行われますので、本機能を利用できます。

- ⑬ 「Microsoft Outlook」の仕様にて“受信したメールに添付されているはずのファイルが見つからない、または **WINMAIL.DAT** という名前のファイルが添付される(※1)(※2)”という不具合が報告されています。当該事象が発生したメールに対しては、「WINMAIL.DAT ファイル及び、該当メールに添付されたファイルを暗号化して送信する設定」と「当該メールを破棄し、差出人に通知する設定」の 2 種類から処理を選択できます。**弊社標準設定では、「WINMAIL.DAT ファイル及び、当該メールに添付されたファイルを暗号化して送信する設定」となっております。ただし、この際に、暗号化された WINMAIL.DAT ファイルと添付ファイルはパスワードでの復号が出来ませんのでご注意ください。また、設定の変更をご希望される際には、HOME-CC にご相談ください。**
- ※1：Microsoft 社の報告では、当該事象の発生条件は以下となります。
- ・送信メールに「outlook」を使用している
 - ・メールフォーマットに「リッチテキスト」を使用している
 - ・メール内容が以下に該当する
 - 「リッチテキスト」特有の書式を使用（投票ボタン等）
 - outlook の特定条件（仕様が開示されていないため、詳細不明）
- ※2： [Microsoft 社の情報](https://support.microsoft.com/ja-jp/help/290809/how-e-mail-message-formats-affect-internet-e-mail-messages-in-outlook)を併せてご参照ください。
- <https://support.microsoft.com/ja-jp/help/290809/how-e-mail-message-formats-affect-internet-e-mail-messages-in-outlook>
- ⑭ 複合機の SMTP を使った送信（「スキャンしてメール送信」/「I-FAX」）機能を利用する場合は、送信対象が暗号化され、パスワードが未達となるため、利用が困難です。複合機からのメールを、本機能による ZIP 暗号化の対象から除外しますのでサービス申込時に複合機本体のメールアドレスを HOME-CC にご連絡ください。
- ⑮ メールを送信者と受信者で、利用しているメールアプリケーションが異なる場合に、本機能により ZIP 暗号化されたファイルのファイル名が文字化けする可能性があります。
- ⑯ **送信をおこなうメールソフトが Apple 社の Mac 標準の「メール」、または「Thunderbird」の場合、特定の操作によって添付されたファイルのみが暗号化されます。詳細は以下をご確認ください。**

その他ご利用方法の詳細は、以下のリンク先より、[クイックガイド(添付ファイル自動 ZIP 暗号化編)]をご確認ください。

HOME-UNIT4/3/2 管理者向けヘルプ：

https://hmbx.canon.jp/help9a/index.php/unit2_admin

■ Mac OS X の場合

MAC OS X にプリインストールされているメールソフトを使用した場合、次のファイルをメールに添付すると、添付ファイルと扱わず、inline 形式(メール本文にデータを埋め込む方式)となるため、本機能による ZIP 暗号化は利用できません。

ファイル種別
画像ファイル全般(.jpg .png .gif など)

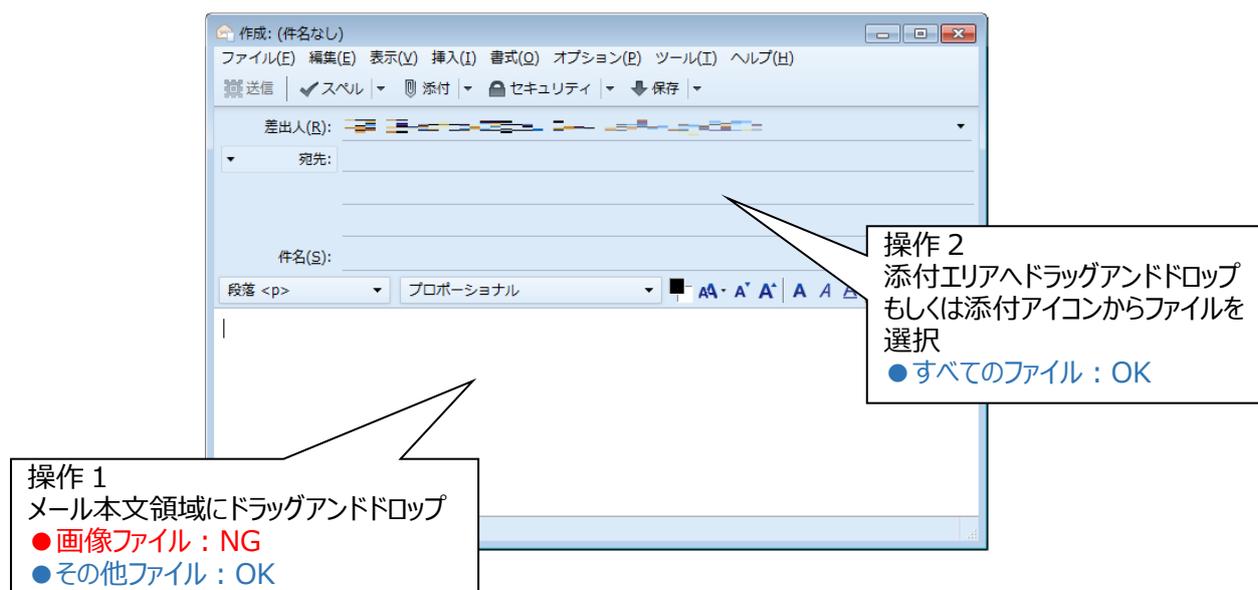
Mac OS X 標準のメールで暗号化サービスをご利用になる場合、
画像ファイルを含むフォルダごと添付操作をおこなってください。



■ Thunderbird の場合

Thunderbird を使用する場合、本文中に画像ファイルをドラッグ&ドロップすると、添付ファイルとして扱わず、inline 形式(メール本文にデータを埋め込む方式)となる為、暗号化されたファイルが文字化けする場合があります。

Thunderbird で暗号化サービスをご利用になる場合、
本文領域ではなく、ヘッダの『添付エリア』へのドラッグアンドドロップもしくは、添付アイコンからファイルを選択し、添付操作をおこなってください。



◎メール通信が既に暗号化されている場合

メールの SSL/TLS による暗号化は、パソコンからメールサーバまでの間の通信に対する盗聴、改ざんに対するセキュリティ担保が目的となっており、UTM が提供するセキュリティとは目的が異なります。

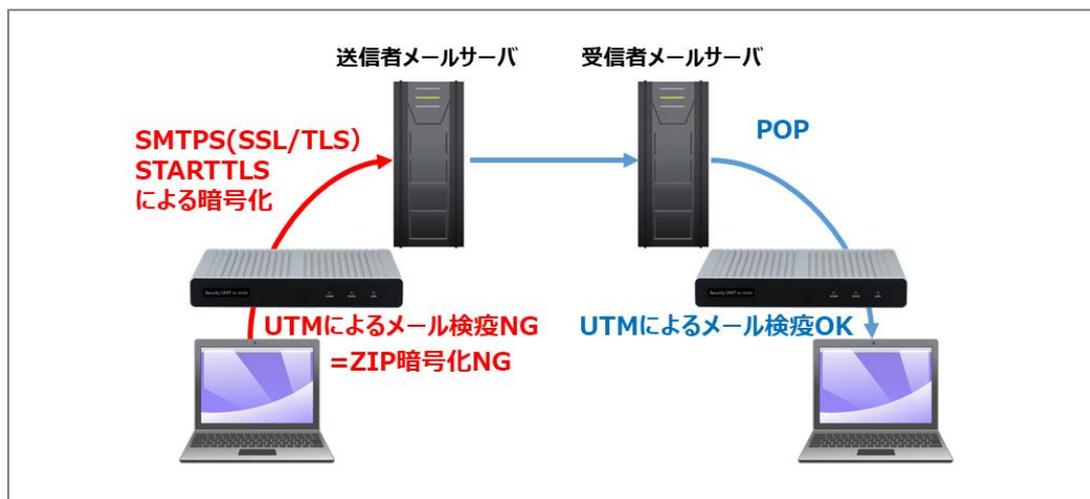
※受信者側が SSL/TLS に対応していなければ、途中で盗聴、改ざんが可能な状態となります。

また、基本的に SSL/TLS で暗号化されたメール通信や STARTTLS を利用したメールサーバとの通信に対しては、UTM 検疫も添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能も利用できませんのでご注意ください。

HOME-UNIT3 で、465 ポートを使用した SSL/TLS で暗号化されたメール通信(POP3S/IMAPS)通信に対して、添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能を利用する場合は、HOME-UNIT3 本体の設定変更、及びクライアント端末への証明書のインポート作業、利用中のメーラの設定変更が必要です。

また、587 ポートを使用した STARTTLS 通信に対応したメールサーバを使用したメール通信に対して、HOME-UNIT3 で、添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能を利用する場合は、HOME-UNIT3 本体の設定変更、及びクライアント端末でご利用中のメーラの平文通信への変更が必要で、本設定変更により、推奨ユーザー数の低減や通信速度の低減が見込まれます。

設定の変更をご希望の際は、HOME-CC にご相談ください。



◎HOME-UNIT3 添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能 動作確認 OS 及びメールソフト

※2020年1月29日時点

OS バージョン	メールソフト
Windows 10	Outlook2016 Outlook2013 Thunderbird
Windows 8.1	Outlook2016 Outlook2013 Thunderbird
Mac OS X 10.15 (Catalina)	Mac 標準メールソフト(v13.x)
Mac OS X 10.14 (Mojave)	Mac 標準メールソフト(v12.x)
Mac OS X 10.13 (High Sierra)	Mac 標準メールソフト(v11.x)
Mac OS X 10.12 (Sierra)	Mac 標準メールソフト(v10.x)
Mac OS X 10.11 (El Capitan)	Mac 標準メールソフト(v9.x)

◎添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能の仕様比較 ※2019年9月25日時点

HOME-UNIT3では、前身のHOME-UNIT2から添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能が大幅に拡張されました。

		HOME-UNIT2	HOME-UNIT3
パスワード自動送信設定			
	送信者のみ	●	●
	送信者とあて先	×	○
	あて先のみ	○	○
パスワード通知メールの本文の任意設定		×	◎
暗号化除外設定 (メールの件名先頭に、「;」があった場合、暗号化除外設定可)		×	○
	暗号化除外文字の任意設定	—	◎
同一ドメインに対する暗号化除外設定		○	○
送信者、あて先の メールアドレス/ドメイン による暗号化除外設定		×	○
複数あて先設定時ホワイトリストに設定したあて先が含まれる際の動作			
	ホワイトリスト先も ZIP 暗号化する	—	●
	ホワイトリスト先は ZIP 暗号化しない	—	○
WINMAIL.DAT ファイル添付時の動作			
	添付されたファイルを暗号化して送信する	●	●
	当該メールを破棄し、差出人に通知する	×	○
HTML 形式メールに埋め込まれた画像の非暗号化設定		×	◎

●：弊社標準設定です。

○：2019年5月29日適用のファームウェアから設定が可能になった機能です。

◎：2019年9月26日適用のファームウェアから設定が可能になった機能です。

○または◎の設定につきましては HOME-CC にご相談ください。

- Canon、iR はキヤノン株式会社の商標です。
- Mac OS は米国 Apple Computer,Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 8.1/10、Exchange、Microsoft OFFICE、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Android は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、Multi-Touch は Apple Inc.の商標です。
- Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名等は、該当する各社の商標または登録商標です。

以上